



第16回 国際文化交流会

7月20日、グランシップ11階会議ホール・風において、国際文化交流会が開催されました。国際文化交流会も16回目を数え、これまでも多くの感動を与えてくれましたが、今年も例年に負けず、本校の学生14名、ムンド・デアレグリア学校より1名、静岡県立大学より1名、計16名が素晴らしいスピーチを披露してくれました。

この時期は、6月に留学試験、7月には能力試験があり、準備が思うように進まず、教師たちは直前まで気をもんでおりましたが、そんな心配もどこ吹く風で、みな様に堂々とステージに立ち、身振り手振りを交え、「環境」、「異文化」、「夢」、「言語」、「政治」など内容も多岐にわたり、自分の想いを熱弁しておりました。

審査員の方々のお話によれば、どのスピーチも甲乙つけがたいレベルだったとのことでしたが、中級の金賞はD1クラスのクリシュナさん（ネパール）、上級はAクラスの楊嘉偉さん（中国）となりました。どちらのスピーチも日本語が流暢であったというだけでなく、内容的にも非常に深く、聞きごたえのあるものでした。

また、今年度は7月生の紹介もさせていただき、Jクラスのシャンさんも、日本に来てまだ1か月足らずでしたが、立派にあいさつをしてくれました。そのほか、一年生による歌の披露や、会場のお客さまも参加した抽選会



なども、会を盛り上げてくれて、ことば学院らしい、楽しいスピーチコンテストになったのではないのでしょうか。

今年も支援者の方、フレンドシップの方など多くのお客さまにご来場いただきました。またU-STREAMによる、全世界への配信も行い、国のご家族やご友人の方々も彼らの華々しい姿を目にいただけたのではないかと思います。

(佐藤)



中級の部



<金賞>

KARKI KRISHNA BAHADUR

<銀賞>

LIN HTET

<新宿日本語学校賞>

DEY PARTHA

<ことば奨学会賞>

NATANIEL FOURIER TANGDIARRANG

PUSPITA WULANDARI

NGUYEN NGOC HUYNH NGAN

上級の部



<金賞>

楊 嘉偉

<銀賞>

吳 昌叡

<新宿日本語学校賞>

YAN NAING SEIN

<銅賞>

AGUSTINA

<ことば奨学会賞>

MYINT MYINT SAN

RIAN ADHIWIJAYA

VO HA TRAMG

VO GIA PHONG

世界文化遺産 富士登山



8月4日(日)毎年恒例の富士登山に140名の学生が参加しました。今年の世界文化遺産に登録されたこともあり、多くの学生がこの日が来るのを楽しみにしていました。5合目では、写真を撮ったり準備運動をしたり身体をならして、7時前、5合目を出発し山頂を見上げながら思い思いに登り始めました。雲の上にいることに感動したり、富士山の天気や気温が様変わりすることに驚いたり、富士山の自然を肌で感じました。途中で下山する学生や山頂まで到達

した学生など、自分の体力の限界まで挑戦できた登山となりました。そして、山頂まで到達した時の達成感、5合目まで無事に下山できた瞬間は忘れられない思い出となりました。

今年もM1クラスのネパール出身バルクリシュナさんが1時間半という早さで山頂に到着しました。

八幡神社夏祭り



富士急ハイランド



富士登山と同じ日、去年富士山に登った学生やアトラクション好きの学生は、今年も富士急ハイランドを目指し、長い待ち時間にもめげず、名物の絶叫マシンを堪能しました。

お盆も終わりの8月15日、八幡神社大祭の奉納みこしに参加させていただきました。学生たち27名は揃いの法被と足袋姿で「ソイヤ、サー」のかけ声も勇ましく、元気にみこしを担ぎました。女性4人をのせたみこしはかなり重いらしく、学生たちは「痛い、痛い」と言いながらも「楽しい!」と何度も担いでいました。日本の伝統文化に触れ熱い夏の夜の思い出となりました。

夏休みの思い出



待ちに待った約3週間の夏休み。長いようで短い夏休みを学生たちはどのように過ごしたのでしょうか？今回はベトナムのイーアンさんに「夏休みの思い出」というテーマでレポートを書いてもらいました。

サファリパークの旅

Aクラス
ウェンチャンイーアン

夏休みに、友達と一緒にすてきな思い出を作るため、野生動物が自由に暮らすというサファリパークへ行きました。

電車で富士へ行くと、バスに乗り換えて、サファリパークへ着きました。

途中で、友達とおしゃべりながら、お茶畑と糸繰の丘をはじめたくさんの素敵な景色を見ました。

まず、計画に沿って、安全で楽しいジャングルバスで野生動物が暮らしている森に入ります。

約50分くらい、7つに分かれた各動物ゾーンを視察します。最初はクマゾーン、次はライオンゾーン、トラゾーン、チーターゾーン、ゾウゾーン、一般草食ゾーン、山岳草食ゾーンです。

ゾーンに入る時、ガイドさんがこの動物の習慣と特徴を説明してくださり、私達がエサをあげました。始めは恐がたけれど、だんだん楽しくなりました。

サファリゾーンが終わったら、ふれあゾーンで遊ばれます。ここで、同じみの動物から珍しい動物までいるので、私達はエサをあげたり、角虫、たりという経験をしました。

それに、ペットが女子き友人は、ネコの食官、イヌの食官、ウサギの食官があるので、ここで世界各地から集まったネコと小型犬、かわいいうさぎにいっぱい、角虫あって、写真を撮られます。

休憩はサファリパークの雰囲気のレストランや森の中のクラシィな喫茶店など選ぶのですが、私達は自分で作った生春巻を休憩の家で気軽に食べました。

最後に、バスに乗って帰る前に、私たちはおみやげ屋によって、動物グッズがアフリカのすてきな商品を記念に買いました。

あれから、私の豆頁の中には、ずっと森が広がっています。ライオンが木の枝で大人しく寝てたり、カンガルーを角曲ったイメージが残っています。

私達にとって、今回はすばらしい旅でした、体がリフレッシュして。ストレスがなくなりました。

夏休み後の勉強を頑張ろうと思いました。



10月生の在留許可下る

10月の新入生の在留許可が下りました。インドネシア2名、ミャンマー10名、ベトナム15名、中国2名、ネパール4名、韓国1名の計34名です。今月末から入国し、オリエンテーション・プレズメントテストを行い、10月7日(月)から授業が始まります。

SURYADI

DIANICA MUKTIA SANI BAYU HAFIF

PHYU WAR ZAW WIN

AUNG HEIN

AUNG SHAN TUN

LA PHYEE WUNN

AYE KO KO MINN

ZAW MYO NAING

MYAT THIRI MON

MYA KAY KHINE KYAW

HLAING ZUN PYAE

AYE HTWE

NGO MANH TUAN

NGUYEN DINH HOANG

LE BAO QUOC

NGO THI TRANG

TRAN VAN TUYEN

インドネシア

インドネシア

ミャンマー

ベトナム

ベトナム

ベトナム

ベトナム

ベトナム

男

男

女

男

男

男

男

男

女

女

女

女

女

男

男

男

男



PHAM THUY THANH LOAN
PHAM THUY THANH TRUC
DOAN KHANH DUY
DO QUANG KHANH DUNG
HUYNH THI MY HANG
TRAN THI BAO NHUNG
VO THI PHUONG DUNG
BUI VAN LOI
DOAN CONG HUY
PHAM HOANG
張 若愚
韓 鈺
BASNET ANIL
SAPKOTA NARAYAN
BANIYA RAMHARI
GHISING SUJIT
金 素英

ベトナム
中国
中国
ネパール
ネパール
ネパール
ネパール
韓国

女
女
男
女
女
女
女
男
男
男
男
男
男
女
男
男
男
男
女



秋の文化祭のお知らせ

日時： 平成25年10月12日(土)
＜学習・文化展＞ 午後12:00より
＜ステージ発表＞ 午後13:30～15:50(13:00会場予定)

場所： 静岡市民文化会館 中ホール
(静岡駅より徒歩20分、バス・タクシー10分)

内容： 盛りだくさん (別紙を参照下さい)

※入場無料



<ご寄付お願いします>

布団、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器が不足しています。ご家庭にまだ使えるものがございましたら事務室までご連絡下さい。TEL 054-284-8383

編集後記

今月号で地球通信を担当してちょうど一年になりました。初めて編集した時は今までのものを見ながら文章や写真の構成にとっても苦労したことを覚えています。きっと、学生も日本語の習得、日本での学生生活の裏にはたくさんの苦労が隠れているのだと思います。苦労した分、達成感ややりがい、楽しさが何倍にも感じられるのだと思います。笑いあり涙ありの学生生活をこれからも皆さんにたくさん配信していきたいと思っています。(長島)

金賞受賞者のスピーチを紹介致します。

[中級の部]

「意識を変える・開発と発展」

KARKI KRISHNA BAHADUR (ネパール)

他の国の学生たちと一緒に日本語を学んでいると、自分の勉強の仕方や持っている知識を他の人の目からもう一度チェックすることができます。今の自分のどこが、どのように改善されたらいいのか考えます。大変なことですが、私が前に進むために必要なことです。つまり、私は意識が変わったのです。「教育によって意識を変える」今日、私はこのことをネパールの環境問題とからめてお話ししたいと思います。

日本に来て驚きました。水道の水がナマで飲める。道路が正確に舗装されて、でこぼこしていない。道にゴミが落ちていない。そして、ゴミをちゃんと分別して捨てていることなどです。

私の国ネパールは緑豊かな美しい国です。経済発展が進み、近代化の途中ですが、まだ学校や病院のない地域もあるし、道路や下水道、ごみ処理などのインフラ整備も遅れています。日本も昔、経済成長の影で公害の問題が深刻だったそうですが、ネパールも今、大気汚染、水の汚染、ゴミ問題などが大きくなってきています。環境に対する人々の意識は低く、企業も環境を考えずにビジネスを行っています。そうして、何か行動を起こそうとする人もいません。ですから、この問題は未解決のまま悪くなる一方です。なぜ、このようなことになるのでしょうか。

私は、人々の意識の低さの原因は「教育」にあると思います。学校では環境についての教育がほとんど行われていないし、私も学校で教えられた記憶がありません。つまり、人々の「無学」が、ネパールの環境を悪くしているのです。

日本では、テレビのニュースを始めいろいろなメディアを通して、環境意識を呼び起こしています。エコカーや節電商品のコマーシャルを流し、ゴミの分別、家庭での節電を呼びかけ、良いことをしていると得をするシステムを作りつつあります。私はこれだ、と思いました。このような取り組みや環境を汚さない技術があることを国の人たちに知らせたい。

今後、ネパールの発展の土台を作るのは若者です。私は将来、大学で教師として若者の「意識改革」に取り組みたいと考えています。まず、みんなの意識が変わる、それから環境を汚さないで皆の幸せな生活が守られる。そんな経済発展を目指すべきです。教育によって、このようなネパールの未来を手助けすることが、私の夢であり目標なのです。

[上級の部]

「取捨選択」

楊嘉偉（中国）

日本で生活してからというもの、驚いたこともあれば、考えさせられることもあります。例えば、朝、青葉公園を通ると、ゴミを拾っている年寄り夫婦と出会うことがあります。ちょっと話を聞いてみると、そのおじいさんとおばあさんは、会社を定年した後自らの意思で公園の清掃というボランティアをしているということです。地域に貢献することで、自分たちがはじめて社会の役に立っていること、そして必要とされている自分があることを感じ、大きな満足に繋がっていると嬉しそうに話してくださいました。また、外出することで身体を動かす機会が増えるので、（精神的な面だけでなく）自分自身の健康にも大いに役立つそうです。

私は、この話を聞いたとき本当に感心すると同時に、老後の人生を自分で選べるお年寄りがとても幸せだと思いました。人には、それぞれ人生があり、この老夫婦のように定年後好きなことができる人もいれば、まだまだ働きたい、働かなければならない人もいるでしょう。では、若者は働くことをどのように考えているのでしょうか。

私は、アルバイト先の日本の若者の考えを聞いてみました。今、私が働いているコンビニでは、正社員は一人もいなくて、店員はみなアルバイトです。また、ファーストフード店や工場などでのバイト比率もあまり変わらないと聞きました。将来どうするのかと聞くと、「フリーターとして働ければいい、まだ就職したくない」と言われました。若いうちは様々な体験をしたいし、それを通してやりがいのある仕事を探そうと思っているそうです。またある人は、上司は建前は新人指導だが、本音は若者いじめばかりしているし、サービス残業もやりたくない・・・だから、もっとましな仕事を見つけて、転職を繰り返したと言っていました。もちろん、私が聞いた日本人は数人にすぎません。しかし、私は考え込んでしまいました。彼らが決して弱い人だとは思いません。安易な考えだとも思っていません。

今の私の夢は日本の大学に進学することです。もしできれば日本で働きたいとも考えます。将来、私も同じように思うのでしょうか。もしかしたら、フリーターと呼ばれる若者たちは、「目標」や「責任」を放り出しているのではないのでしょうか。縦社会の煩わしい関係を避けて、自由な居心地のよさをかみしめたフリーターは、「目標」や「責任」を選ぶことをしないのです。人生を自由に選択できる老人と、選ぶべき道が見つからない若者・・・。私は老夫婦のように、最後まで、自分が納得できる道を選びたいです。

人間は何歳になっても、人生の交差点で選択をしなければならないのです。そのためには、勇気も必要でしょう。私はこれから、「目標」を設定し、行動する実力を養っていこうと思います。私は人生を選択しなければならないとき、「楽な道」を捨て、「目標」と「責任」を伴う「いばらの道」を選びたいと思います。